




株式会社ハイブリッドテクノロジーズ
(証券コード:4260)
2022年9月期(第2四半期)
決算説明資料

2022年5月13日

2022年9月期第2四半期の総括

- ・売上収益は、前年同期比**+42%**、主要サービスであるストックサービスの売上収益は前年同期比**+60%**。
- ・営業利益は、前年同期の29百万円から93百万円増加して**122百万円(+326%)**。
- ・重要KPIのストックサービス数は62件(通期計画67件)、ストックサービス単価は2,679千円(通期計画2,600千円)。
- ・当第2四半期までの業績進捗を勘案し、**通期業績予想の上方修正を決議**。

売上収益
1,051_{百万円} **+42%** 
(前年同期比)

売上総利益
383_{百万円} **+47%** 
(前年同期比)

営業利益
122_{百万円} **+326%** 
(前年同期比)

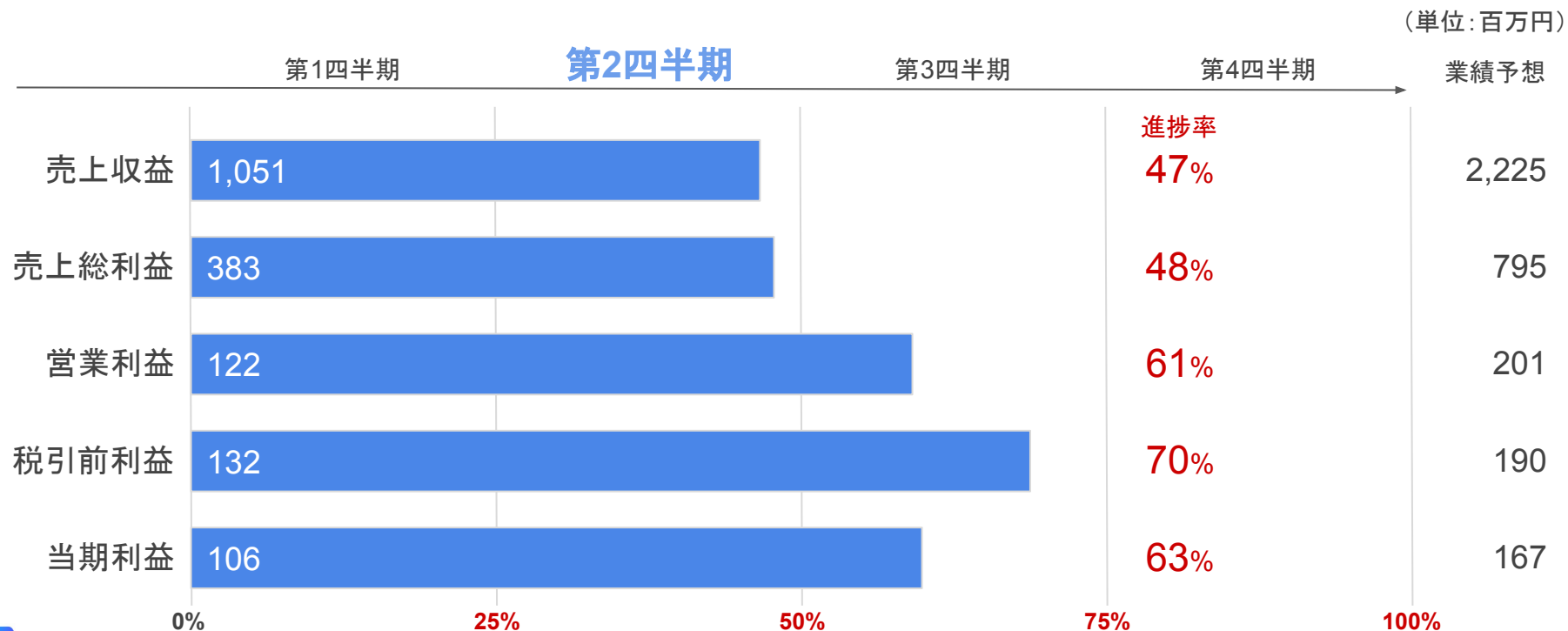
売上収益進捗率(対業績予想)
47%

営業利益進捗率(対業績予想)
61%



業績予想に対する進捗率

- ・ストックサービスの伸長により、売上収益及び売上総利益は想定を上回る水準で進捗。
- ・売上収益の想定を上回る進捗に伴い、販管費率が低下し、営業利益は通期業績予想に対して**61%**と大幅に進捗。
- ・為替変動に伴う為替差益の計上もあり、税引前利益は通期業績予想に対して**70%**と大幅に進捗。



決算概要

- ・成長戦略に掲げるストックサービス数が順調に増加し、高単価人材の採用、アサイン促進が加速したことで、ストックサービス単価が大きく改善。この結果、売上収益は前年同期比**+42%**と高い成長を達成。
- ・売上収益の増加、及び新卒人材の採用、アサイン促進によって売上総利益は前年同期比**+47%**を達成。
- ・売上収益の想定を上回る進捗に伴い、販管費率が低下し、営業利益は前年同期比**+93百万円(+326%)**、当期利益は前年同期比**+86百万円(+436%)**と大幅に増加。

(単位:百万円)

	2021年9月期 第2四半期(累計)		2022年9月期 第2四半期(累計)		前年 同期比	通期業績予想	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率		金額	進捗率
売上収益	743	-	1,051	-	+42%	2,225	47%
売上総利益	261	35%	383	36%	+47%	795	48%
営業利益	29	3%	122	12%	+326%	201	61%
税引前利益	30	4%	132	13%	+339%	190	70%
当期利益	20	2%	106	10%	+436%	167	63%



業績予想の上方修正

- ・第2四半期末時点での通期業績予想に対する売上収益、営業利益等の実績進捗を勘案し、**通期業績予想の上方修正を決議**。
- ・第3四半期以降は、人材採用や社内教育、販売促進活動等への投資を加速させ、来期以降の成長基盤を築く。
- ・その結果、営業利益の通期業績予想は、前回発表予想の201百万円から**+47百万円(+24%)**の248百万円に修正。

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率	前年度通期実績 (参考)
売上収益	2,225	2,274	49	+2%	1,702
売上総利益	795	825	30	+4%	652
営業利益	201	248	47	+24%	111
税引前利益	190	252	62	+33%	106
当期利益	167	204	37	+22%	75



決算概要

- ・上方修正後の通期業績予想に対する進捗は、以下の通り。
- ・ストックサービスの積み上げ型の収益構造を勘案すると、修正後の通期業績予想に対しても十分な進捗。

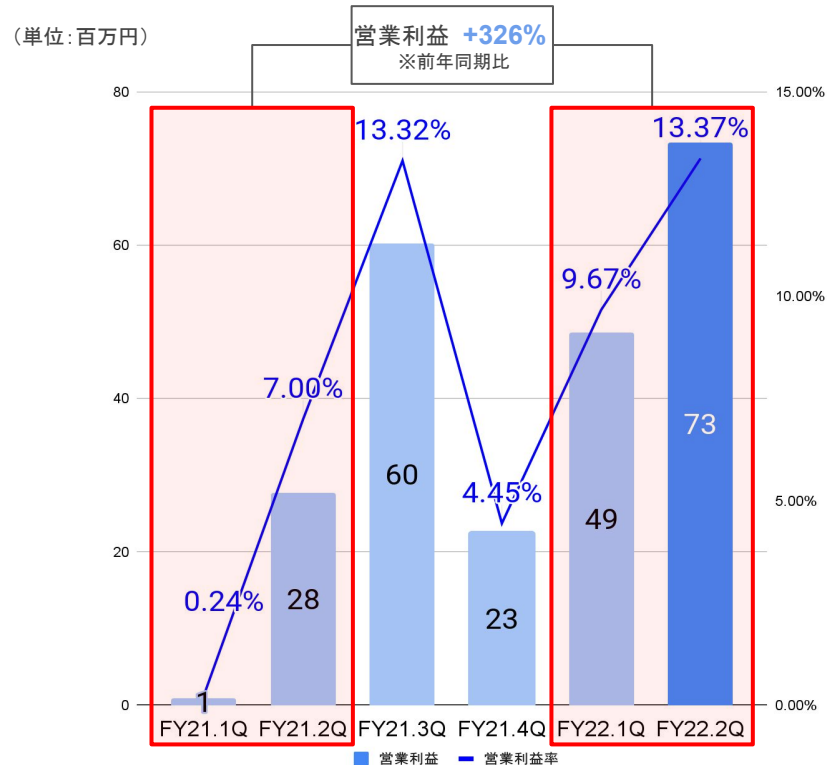
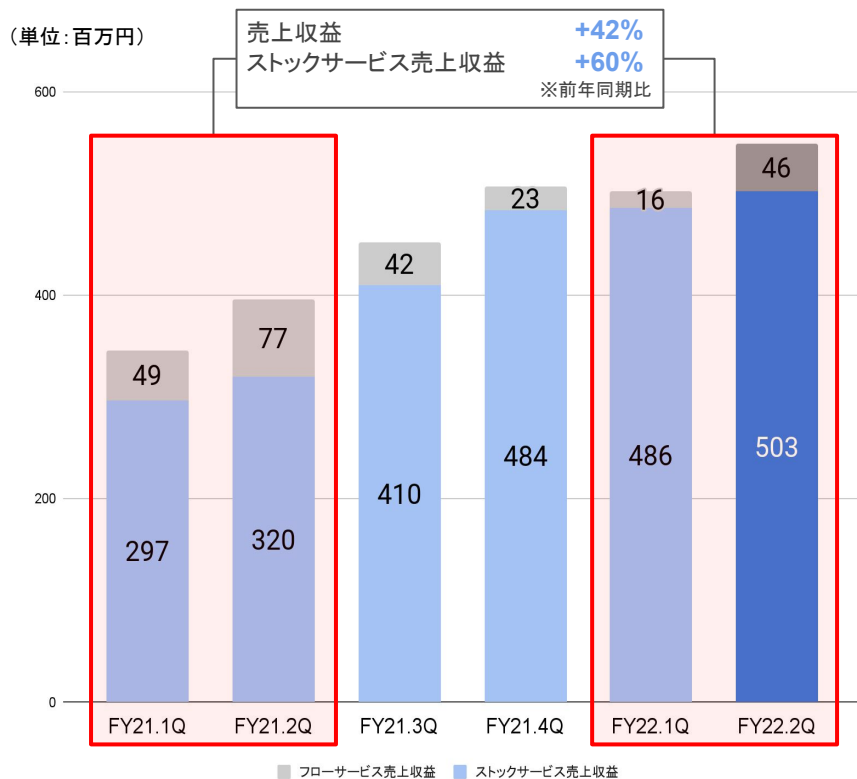
(単位:百万円)

	2021年9月期 第2四半期(累計)		2022年9月期 第2四半期(累計)		前年 同期比	修正後の通期業績予想	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率		金額	進捗率
売上収益	743	-	1,051	-	+42%	2,274	46%
売上総利益	261	35%	383	36%	+47%	825	46%
営業利益	29	3%	122	12%	+326%	248	49%
税引前利益	30	4%	132	13%	+339%	252	53%
当期利益	20	2%	106	10%	+436%	204	52%



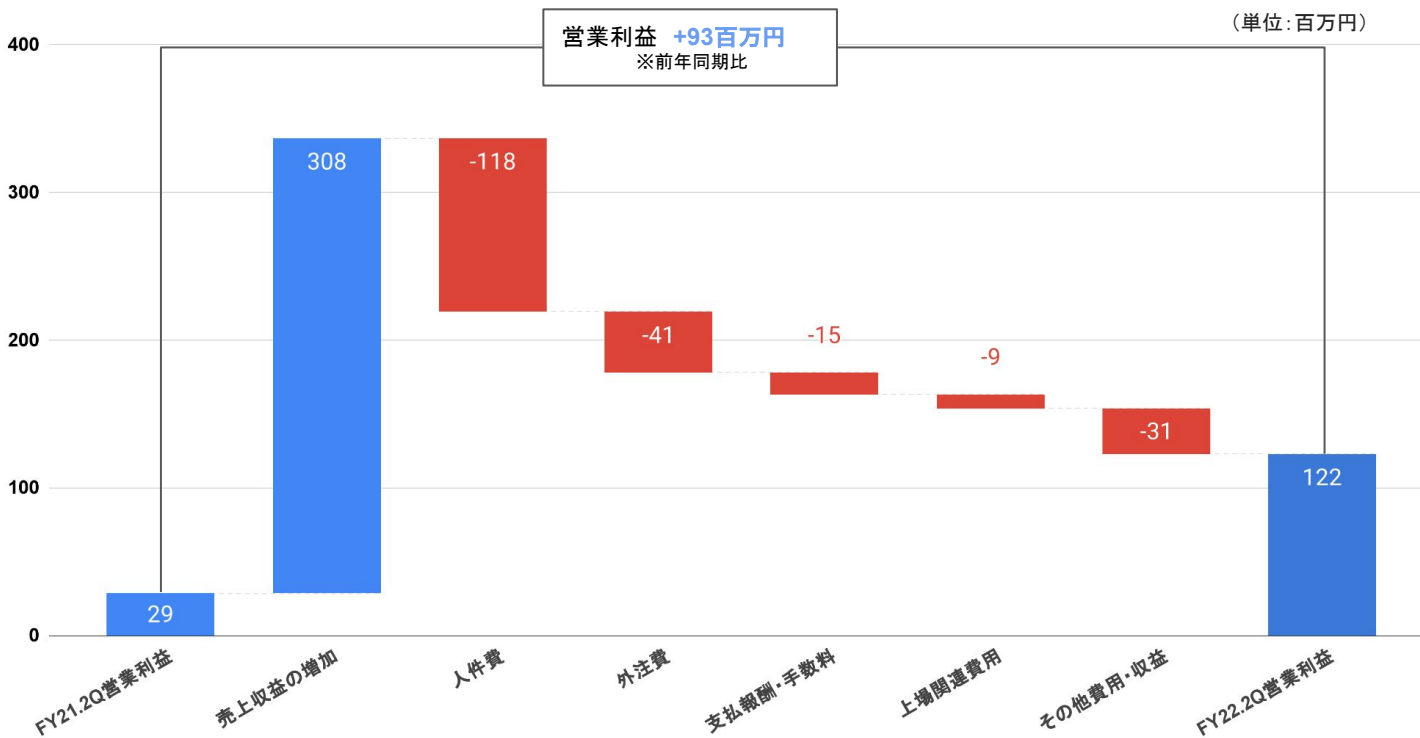
四半期毎の推移

- ・第2四半期の売上収益は、前年同期比**+42%**、主要サービスであるストックサービスの売上収益は前年同期比**+60%**。
- ・成長戦略に掲げる高単価人材の起用が進捗し、売上収益の増加に貢献。
- ・売上収益の増加に加えて、新卒人材の起用促進によって、営業利益、営業利益率ともに改善。



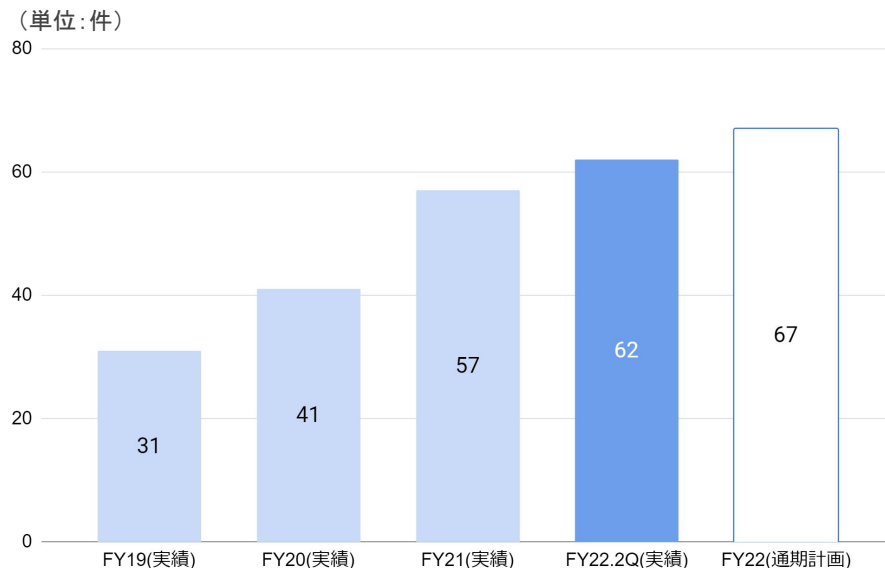
営業利益(累計)の分析

- ・第2四半期(累計)の営業利益は、前年同期比**+93百万円(+326%)**の増加。
- ・売上収益の増加と連動して人材の採用を加速させたことで、人件費が増加。



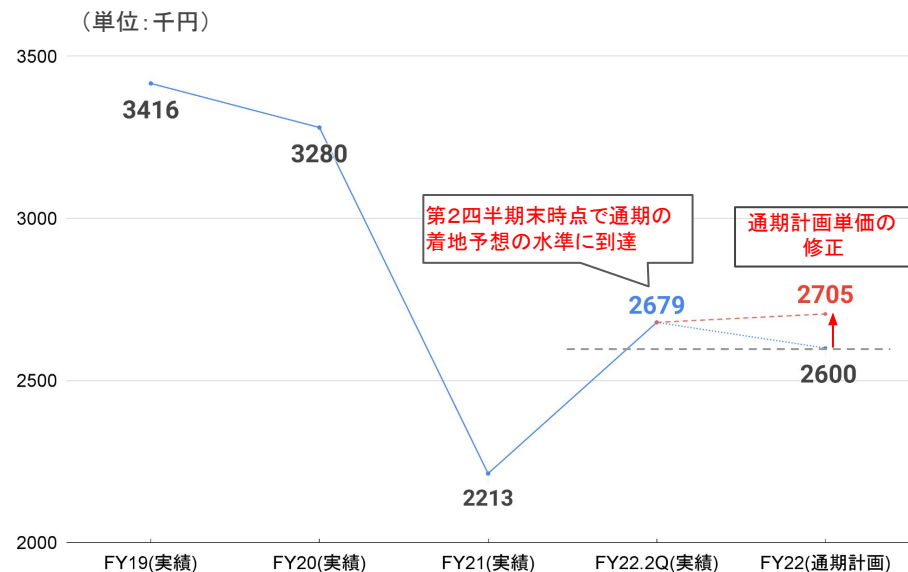
- ・ストックサービス数は、前年度実績57件から当第2四半期**62件**と、当年度計画67件に向けて順調に積み上げ。
- ・ストックサービス単価は、前年度実績2,213千円から当第2四半期**2,679千円**と、当年度計画2,600千円を上回る進捗。
- ・これにより、通期業績予想と併せて通期ストックサービス単価の修正を決議。
- ・成長戦略に掲げる日本人プロジェクトマネージャーをはじめとした高単価人材の採用、アサイン促進が単価向上に寄与。

ストックサービス数の推移



※ストックサービス数.. 「月次ストックサービス数の年次合計12ヶ月」で算出した年次平均数。
第2四半期の実績は、「月次ストックサービス数の第4半期合計6ヶ月」で算出。

ストックサービス単価の推移



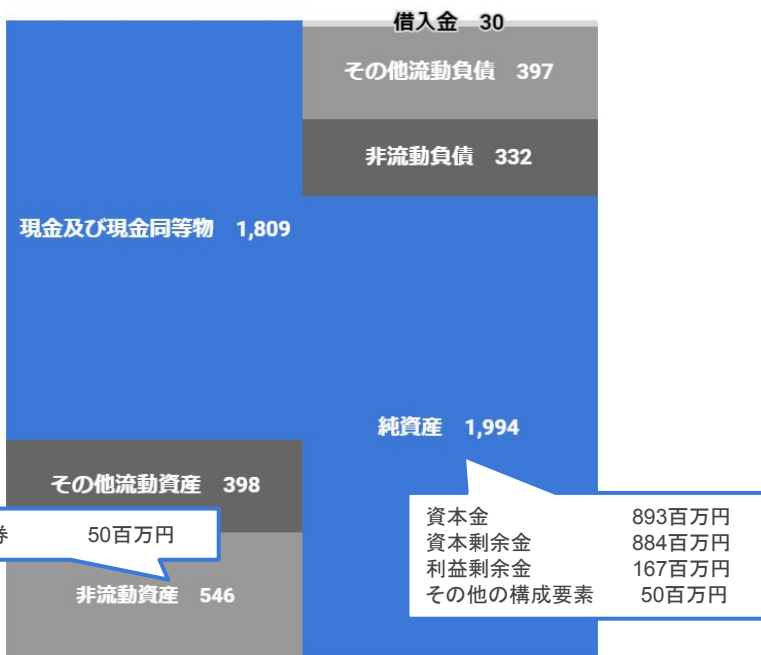
※ストックサービス単価.. 「年次のストックサービス売上月次ストックサービス数の年次合計」で算出した年次平均単価。
第2四半期の実績は、「第2四半期のストックサービス売上月次ストックサービス数の第4半期合計」で算出。

2022年9月期第2四半期 B/S及びC/F

- ・後述のHybrid Technologies Capitalプロジェクトによって取得した投資有価証券50百万円を非流動資産に計上。
- ・自己資本比率は、2021年9月期末の43%から当第2四半期末には**72%**と大幅に改善。

B/S

(単位:百万円)



C/F

(単位:百万円)

営業活動CF	99
投資活動CF	△53
財務活動CF	1,248
現金及び現金同等物の増減額	1,294
現金及び現金同等物の期首残高	500
現金及び現金同等物に係る換算差額	15
現金及び現金同等物の2Q末残高	1,809

上場に伴う新株発行による収入 1,267百万円

成長戦略に関するトピックス



- ・ストックサービス数拡大のために各獲得施策を強化。
- ・ストックサービス単価向上のために3つの施策を実施。

ストックサービス数拡大戦略

1. 中堅・中小企業のマーケット拡大
2. 大企業へのアプローチ強化

獲得施策



既存顧客からの
流入強化



Webからの
流入強化



セールス体制の
強化



実績の蓄積

単価向上施策

サービス設計、システム設計の上流工程の
強化をすることにより、
単価の高い人材をアサインして単価向上を図る

既存プロジェクトのサービス成長コミットによる
人員の追加で単価向上を図る

IPO後の認知拡大に伴い、
大企業との取引を狙うことで単価の向上を図る

新規ストックサービス

・今期の新規ストックサービス数は、順調に増加し、累計14件。

新規ストックサービス数

14件

上場企業

3件

未上場企業

11件

新規受注顧客

SHIFT ASIA



Money Forward



PERSOL

パーソル キャリア



C2C
PLATFORM



LibeLi-io

他8件



- ・建設、不動産業界のDXを推進する企業2社との業務提携を締結。
- ・サービスの開発をはじめ総合的な協業体制のネットワーク構築を推進。



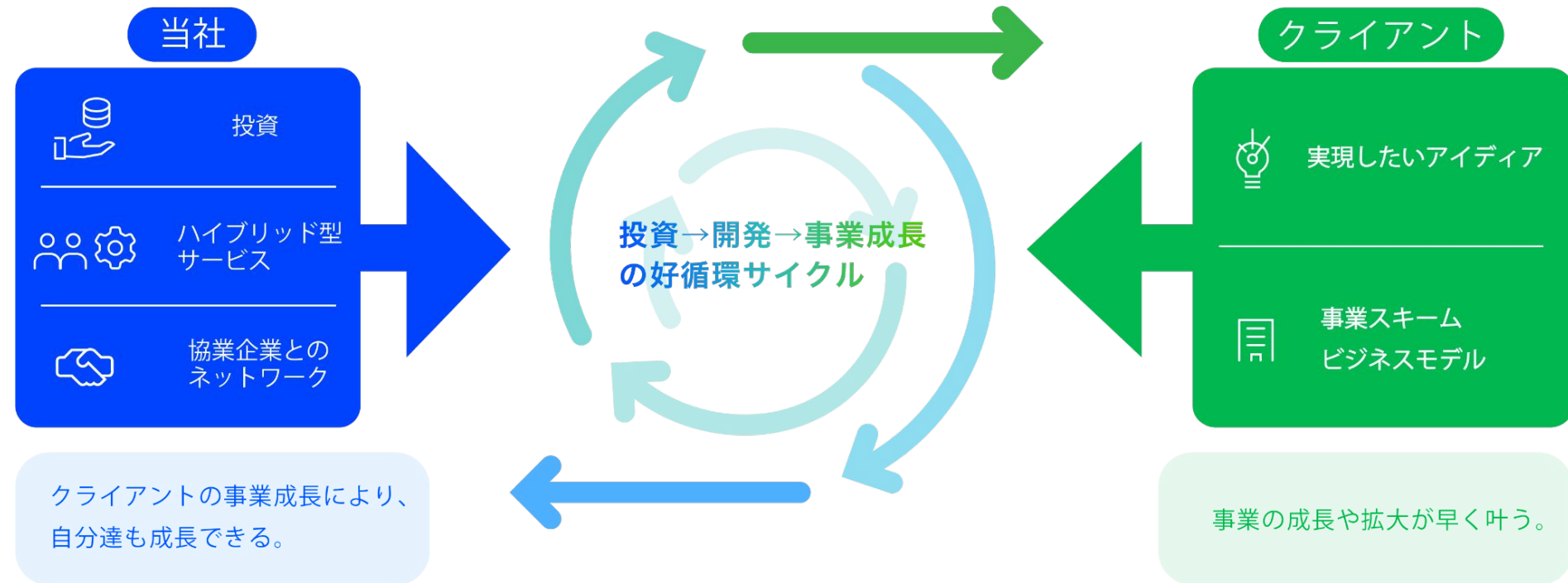
KP TECHNOLOGIES



会社名	株式会社 KP TECHNOLOGIES	株式会社アライバル
時期	2022年3月2日	2022年3月24日
事業内容	建設会社のバックオフィス業務をデジタル化するクラウド型受注ソフト「建設PAD」を運営。	「試着や試乗があるように建物にはタメシダテを」を理念に掲げ、建設、不動産業界に特化したVRやAR、3DCGコンテンツ等を提供。
提携内容	今後、当社のハイブリッド型サービスの提供による開発体制の強化を通して、導入企業の業務効率化、業務負担の軽減を実現し、ひいては建設業界全体のデジタル化の促進を目的とする。	VR内覧ツール「タメシダテVR」の継続的な改修、新機能の開発、販売チャネルの拡大等を目的として、当社との業務提携に合意。

Hybrid Technologies Capitalを始動

- ・スタートアップの事業成長を目的とした支援プロジェクト「Hybrid Technologies Capital」を始動。
- ・双方の事業成長シナジーが見込まれる企業を対象とし、投資と開発の複合的なリソース提供で、両社の事業成長を目指すプログラム。



シードからレイターまでの全ての投資フェーズを対象として、
事業成長シナジーが見込まれる幅広いパートナーを支援。

- ・UI/UXデザイン、サービス開発、マーケティング支援などの領域に事業を展開。
- ・フリーランスとプロジェクトをつなげるスキルシェアサービス「Workship」を運営。
- ・今後はHybrid Technologies Capitalの提供を通して、同社のUI/UXデザイン、サービス開発、マーケティング戦略の立案等をより幅広く提案できる体制を支援し、日本のDXを促すパートナーとして協働。

GIG INC.

- ・UI/UXデザイン
- ・サービス開発
- ・マーケティング戦略の立案

- ・実績に基づくDX推進の知見
- ・ベトナムの豊富なIT人材へのアクセス
- ・投資による事業成長支援
- ・協業企業とのネットワーク

NEW VIEW

UI/UXデザイン、サービス開発、マーケティング戦略の立案等をより幅広く提案できる体制を支援し、日本のDXを促すパートナーシップを構築。

Hybrid
Technologies

- ・児童福祉法に基づく障がい児通所支援事業の運営及びパーソナル運動療育施設を運営、発達障がい児向けの運動教室「LUMO(ルーモ)」を展開。
- ・同社が課題としていた、今後より多くの発育発達段階にある子どもたちへサービスを届けるための、デジタル支援体制の構築に対し、Hybrid Technologies Capitalによる支援を実施。



- ・実績に基づくDX推進の知見
- ・ベトナムの豊富なIT人材へのアクセス
- ・投資による事業成長支援
- ・協業企業とのネットワーク



こども運動教室



- ・児童福祉法に基づく障害児通所支援事業
- ・パーソナル運動療育施設の運営
- ・発達障がい児向け運動教室「LUMO(ルーモ)」の運営

NEW VIEW

投資先事業のデジタル支援体制を構築し、より多くの発育発達段階にある子どもたちに同事業を届け、事業の成長、障がい児通所支援の浸透を支援。

ベトナムでの活動

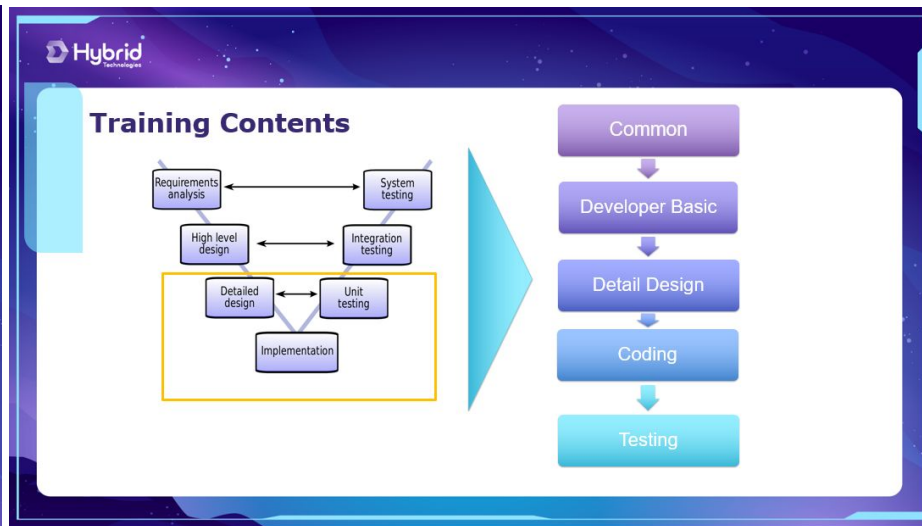


Talent Academy (自社内教育組織)の活動

- ・ベトナム国家大学及びホーチミン市自然科学大学とオンラインオフィスツアーを開催。
- ・画面共有によるオフィス案内や、当社でのキャリアパス、Talent Academyを卒業したエンジニアによる経験談等を通して、参加した学生約50名に対し当社で働くイメージを共有。
- ・現地教育機関との関係性を深め、優秀な新卒人材の採用体制の強化を継続。



同日の工程表。Talent Academyを修了した当社エンジニアの体験談の共有等を通して、参加した学生に当社が提供するキャリアイメージを発信。

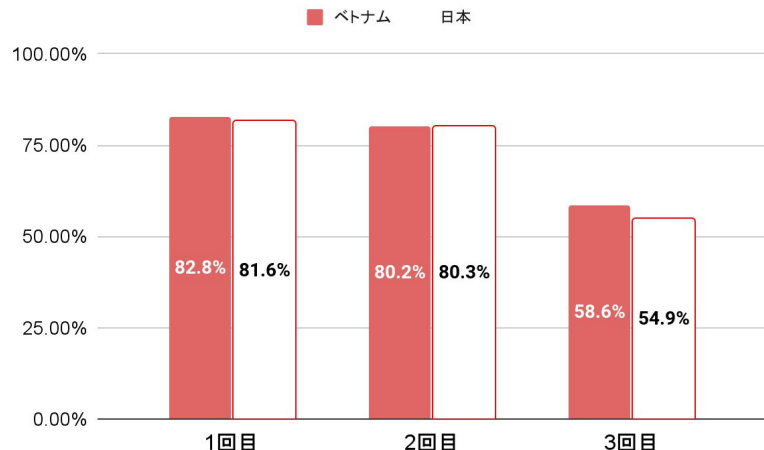


オフィスツアーで紹介した、Talent Academy研修内容の案内(一部抜粋)。開発やテスト、他エンジニアとの連携等、幅広い研修内容を紹介。

ベトナムにおける新型コロナウイルス感染症の動向

- ・ベトナムで2022年5月12日時点で3回目のワクチン接種を完了した国民が全体の58%以上となる。1回目から3回目にかけて、日本と同水準の普及率。
- ・2022年3月中旬から外出の制限が緩和され、社会活動はコロナ前とほぼ同水準。
- ・ベトナム発着の航空機の運航制限の解除等、ビジネス目的の渡航も条件が緩和。

ワクチン接種率



出典： 首相官邸ホームページ（2022年5月12日公開時点）
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html>
ベトナム保健省、ワクチン接種レポート
<https://vnexpress.net/covid-19/vaccine#viet-nam>

ビジネス渡航の制限緩和

直行便の再開

2月15日よりベトナム発着の定期便の運航制限を解除し、日本からの直行便も増加

ビザ免除

日本など13か国からベトナムへ入国すれば、ベトナムの滞在期間が15日以内の場合に、ビザ免除。

入国後の検査及び隔離措置が不要

出国前に受けた新型コロナウイルス検査結果が陰性

PCR検査：出国前72時間以内
迅速抗原検査：出国前24時間以内

出典： 在ベトナム日本国大使館ホームページ（2022年5月12日公開時点）
https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/20200731nyuukoku.html

技術革新・DX・サプライチェーン多元化における日越協力に関するセミナー

- ・2022年5月1日にホーチミン市で「技術革新・DX・サプライチェーン多元化における日越協力に関するセミナー」が開催。
- ・日本の岸田総理大臣、ベトナムのファム・ミン・チン首相が登壇し、日本とベトナムが今後も社会的、経済的な課題を解決するDXに協力して取り組んでいく関係性を確認。



日越の両首相の共同会見に出席する当社代表のミン
(画面中央、チン首相の右奥)



セミナー会場の様子

Vietnam Academy of Science and Technology (VAST)への表敬訪問と産学官連携協議

- ・2022年5月12日に当社代表のミンがベトナム国内有数の科学研究機関VASTを訪問。
- ・VASTは、科学技術の分野を広く研究し、ベトナム政府の政策や戦略立案に科学技術面から寄与、科学者や技術者の育成を担うベトナム国立研究・教育機関。
- ・当訪問では、政府が保持するビッグデータを活用した公共政策のデザインを共同で行う産学官連携について協議。



当社代表のミン(左)と、会談に出席された VAST
地震・津波警報院長のゲン スアン アン 氏(右)

Vietnam Academy of Science and Technologyの概要

設立

1975年(旧:Vietnam Academy of Science)

組織構成

総部門数:51部門

構成員数:3,577名(博士 933名、修士 930名 他)

活動目的

- ・国内の自然科学に関する調査、科学技術の発展
- ・経済発展のための政策、戦略立案の補助
- ・優秀な科学者、技術者の育成

主な実績

(Annual report
2020より抜粋)

- ・総研究、プロジェクト数:828項目
- ・書籍の出版:58件
- ・科学研究の発表:2,544件
- ・etc...

会社・事業の概要



- Vision

New view with you

- Mission

私たちは常に発展途上であり、顧客とともに成長し続けます。

- Business

顧客に適したデジタル技術を用いて、業務のみならず
ビジネス変革を提供することで、顧客の競争優位性を高め、
社会をよくするための事業の運営をしていきます。

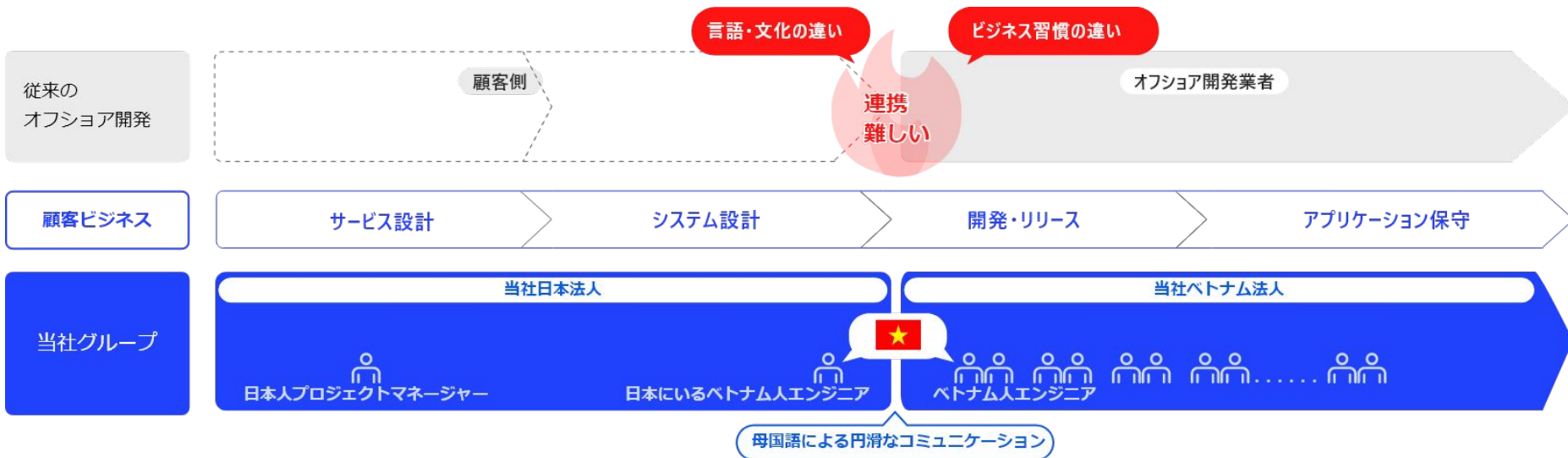


社名	設立年月日	役員(2022年5月13日時点)
株式会社ハイブリッドテクノロジーズ Hybrid Technologies Co., Ltd 〈連結子会社〉 Hybrid Technologies Vietnam Co., Ltd.	2016年4月28日	代表取締役社長 チャン バン ミン(TRAN VAN MINH)
所在地	資本金(2022年3月31日時点)	取締役CFO 平川 和真
〈東京本社〉 〒104-0033 東京都中央区新川2-22-1 いちご新川ビル5F	893,343千円	取締役 窪田 陽介
〈連結子会社/ベトナム〉	従業員数(2022年3月31日時点)	社外取締役 増山 雅美
・ホーチミンDOBオフィス 7F Dongnhan Office Building, 90 Nguyen Dinh Chieu Street, Dakao Ward, District 1, Ho Chi Minh City	505名 ※100%子会社従業員含む	社外取締役 衣笠 嘉展
・ハノイCPオフィス 12AF, Central Point,219 Trung Kinh Street, Cau Giay District, Ha Noi		常勤監査役 高田 英次
・ダナンVPオフィス 7 th floor, Vinh Trung Plaza 255-257 Hung Vuong Street, Hai Chau 1 ward, Hai Chau District, Da Nang		社外監査役 狐塚 利光
		社外監査役 里見 剛
		執行役員 新井 康太
		執行役員 高村 亙



事業概要

ハイブリッド型サービスでは、日本側が中心となり顧客のサービス設計、システム設計の上流工程を担い、ベトナム側のエンジニアリソースと連携することで顧客サービスの上流から下流工程に至る一連のサービスを提供。



・顧客ニーズに沿って、準委任契約のストックサービスと請負契約のフローサービスを提供。

カテゴリ	ストックサービス		フローサービス
契約種別	準委任契約		請負契約
サービスライン	長期型	短期型	-
期間	1年	3ヶ月程度	案件単位
特徴	アジャイルスクラム型開発 ※1		ウォーターフォール型開発 ※2
ニーズ例	特定の案件によらず安定的に ビジネスやプロダクトを 成長させるためのリソースを獲得したい	・特定の案件でのリソース確保をしたい。 ・長期のトライアルをしたい	・要件は明確に決まっているが、リソース 不足のため短期的にリソースを確保したい。 ・長期のトライアルをしたい

※1 アジャイルスクラム開発 ビジネス機能にたいして開発機能を分解し、機能単位での要件定義・設計・実装・テストを行う「アジャイル開発」の中の代表的な手法の一つ。「達成すべき目標」や「実現すべき機能」をチーム内で共有を行い、チーム全体で開発を進める手法。その他、アジャイルカンバンなどのアジャイル開発手法がある。

※2 ウォーターフォール開発 コンピュータソフトウェアのシステムの開発手法。要件に従い、要件定義・設計・実装・テストを一連の流れで行う手法。主に、全行程での変更が少ない業務系のコンピュータシステム向けの開発で用いられる。

・当社が考える当社事業の強みとしては以下の3点。詳細は、次ページ以降。

①日本とベトナムのシナジー

20~40代の豊富な労働人口基盤を持ち、2030年までにIT人材150万人の輩出を国家の目標とするベトナムは、日本の労働人口JT人材の不足を補うパートナーとしての高い適正を持つ。



②ビジネスモデル

上流工程を担う日本と、開発実装を担うベトナムの間を、日本の商習慣を理解するベトナム人エンジニアが橋渡しをすることで、オフショアのデメリットを最小限に開発の上流から下流までの全ての開発工程を完結させることが可能。



③リソース供給力

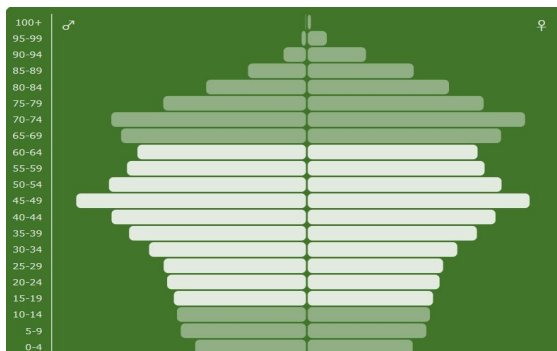
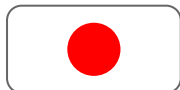
ベトナム国内における当社の高い知名度を活かした採用ネットワークにより、日本国内では困難な、案件に応じた機動的な人材確保が可能。

ベトナムにおける開発経験者の候補リスト

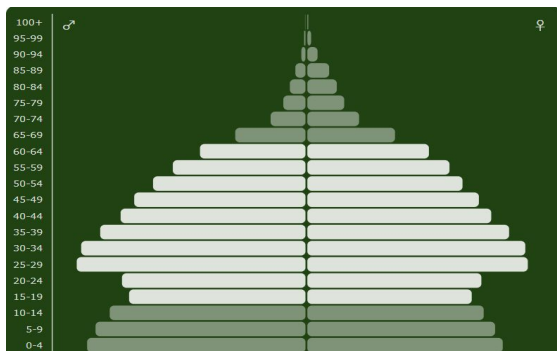
20,000人+

当社事業の強み①: 日本とベトナムのシナジー(人口構成)

- ・2020年時点で、少子高齢化問題が顕在化している日本に対し、ベトナムの総人口は今後も増加見込。
- ・ベトナムは2035年頃に総人口、労働可能人口で日本を上回り、2050年に労働可能人口の差は1500万人と推計されている。
- ・ベトナムの労働人口、連動して増加するIT人材は、日本の労働力不足、それに起因する社会問題のソリューションとなり得る。



	2020年		2050年
総人口	12,648万人	-17%↘	10,580万人
(労働可能人口※)	(7,482万人)	(-28%↘)	(5,366万人)

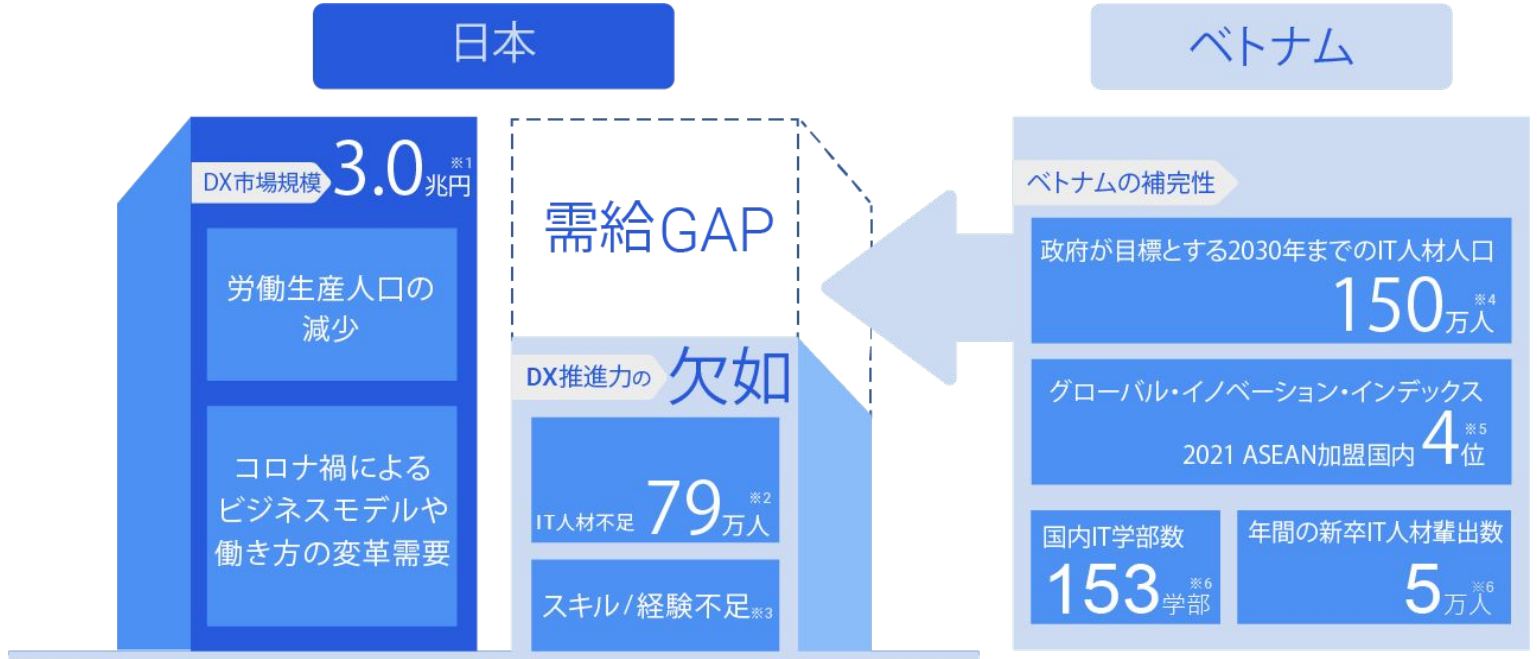


	2020年		2050年
総人口	9,734万人	+13%↗	10,961万人
(労働可能人口※)	(6,711万人)	(+2%↗)	(6,836万人)

出典: United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division (2019).World Population Prospects 2019, Online
※ 15歳以上65歳未満の人口層を労働可能人口とした場合

当社事業の強み①: 日本とベトナムのシナジー(市場環境)

- ・日本企業のDX市場は、2030年には3兆円規模への成長が見込まれる一方、国内でDXを推進するリソースであるIT人材や、ノウハウは不足する見通し。
- ・ベトナムは国策に後押しされている豊富なIT人材と成長性を持つ。



出典:

1. 富士キメラ総研「2020デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」
2. 経済産業省委託によるみずほ総研の「2019年3月調査報告書」において、生産性の上昇率を最大の0.7%で試算した場合
3. 独立行政法人情報処理推進機構社会基盤センター「IT人材白書2020(従業員300名以下の企業においては、約50%もの企業が自社内にITのスキルを蓄積、内製化する取り組みが進んでおらず、70%近くの企業はDXに取り組んでいない、分からないと回答した調査結果)」
4. LP(2020). Chiến lược quốc gia về phát triển doanh nghiệp công nghệ số Việt Nam. Hanoi: Socialist Republic of Viet Nam government News.
5. WIPO (2021). Global Innovation Index 2021: Tracking Innovation through the COVID-19 Crisis. Geneva: World Intellectual Property Organization.
6. TopDev(2020). Viet Nam IT Market Report 2020. Ho Chi Minh City: TopDev.



当社事業の強み②:ビジネスモデル

上流工程を担う日本と、開発実装を担うベトナムの間を、日本の商習慣を理解するベトナム人エンジニアが橋渡しをすることで、オフショアのデメリットを最小限に抑え、開発の上流から下流までの全ての開発工程を完結。

顧客ビジネス

サービス設計

システム設計

開発・リリース

アプリケーション保守

当社グループ

当社日本法人

当社ベトナム法人

日本人プロジェクトマネージャー

日本にいるベトナム人エンジニア



ベトナム人エンジニア

1. 上流工程のコンサルティング

経験豊富な日本人のプロジェクトマネージャーが、サービスの構想、設計段階からのコンサルティング、マネジメントに対応。

2. 母国語を用いたコミュニケーション

日本の商習慣を理解するベトナム人エンジニアが橋渡しをすることで、コミュニケーションロスを抑制し、高い品質を実現。

3. ベトナムの豊富なIT人材

ベトナムは国策によってIT人材の輩出を促していることで、日本国内では難しい機動的なIT人材の確保が可能。コストメリットも享受。

- ・ベトナム国内における当社の高い知名度を活かした採用ネットワークにより、日本国内では困難な、案件に応じた機動的な人材確保が可能。
- ・2021年12月の上場後、経済雑誌Forbsのベトナム現地誌「Forbs Vietnam」からの取材等、ベトナム国内メディア16件に当社の記事が掲載され、特にベトナム国内の採用候補者への当社認知は順調に浸透。

ベトナムにおける当社の知名度

日系企業として
最高位 ※1

ベトナムにおける開発経験者の候補リスト

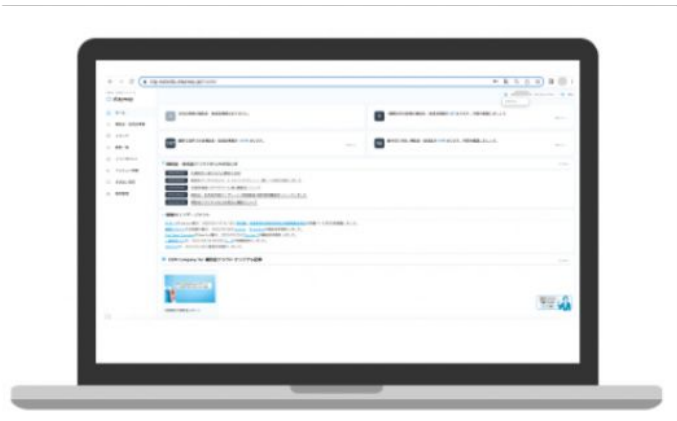
20,000人+

※1 株式会社マイナビが運営するベトナムでITエンジニア専門の求人サイト ITviecは、給与・教育・マネジメント・企業文化・オフィス環境の観点から、Best Companyを選定。Hybrid Technologies Vietnam Co., Ltd.は、2019年と2020年に、日系企業で最高位に選出されました。

※2 過去当社へ応募頂いた開発候補者のリストです。応募のタイミングでリクルートシステムに登録し、常にそのリストから候補者へのリーチできる体制を持っています。



制作事例：株式会社Stayway



Web

新規開発：3ヶ月 / 13.6人月 保守改修：2021年10月～
活用開発言語：golang, Nuxt.js, Vue.js

アジャイルスクラム

ウォーターフォール

分析

企画

UI/UX

要件定義

設計

開発

検証

保守改修

【サービス内容】

補助金活用を検討する企業が、専門家に採択可能性や申請できる補助金の種別などの相談をすることができるWEBプラットフォーム

【クライアント課題/要望】

- ・ コロナ渦で既存事業の収益減により、代表の佐藤氏の強み・経験に基づいた新規事業の創出
- ・ 自社の開発チームと組み合わせながら、疑似内製チームを構築
- ・ 事業状況に応じて柔軟にリソースをデリバリーすることができる体制

【当社ご提案】

- ・ ストックサービス
- ・ 日本人デザイナーをアサインして高品質なUI/UXを実現



Hybrid

Technologies

- ・本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- ・これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- ・当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- ・本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。